

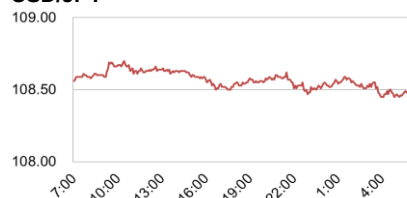
<為替四本値>

Time		CCY	USD/JPY	EUR/USD	GBP/USD	USD/CHF	EUR/JPY
TKY	Open High Low Close			休場			
LDN	Open	108.58	1.1149	1.2966	0.9865	121.06	
	High	108.63	1.1150	1.2971	0.9891	121.07	
	Low	108.46	1.1123	1.2889	0.9865	120.75	
	Close	108.55	1.1132	1.2909	0.9885	120.84	
NY	Open	108.59	1.1138	1.2933	0.9884	120.96	
	High	108.63	1.1154	1.3000	0.9896	121.05	
	Low	108.44	1.1117	1.2862	0.9876	120.59	
	Close	108.49	1.1126	1.2873	0.9894	120.69	

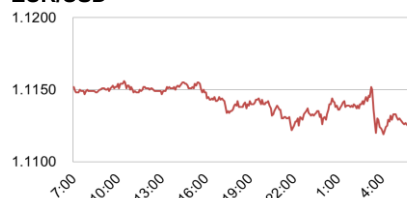
(Refinitivデータを元に当行作成)

<為替相場推移>

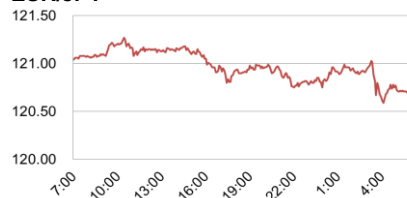
USD/JPY



EUR/USD



EUR/JPY



(出所)Refinitiv

<為替相場概況>

東京市場休場の中、ドル円は108 円台半ばで小動き

東京市場休場の中、アジア時間のドル円相場は108.60で寄り付いた後、前日の米長期金利の上昇を背景に、高値108.72まで上昇する場面がみられた。上げ一服後、ドル円は108 円台半ばまで水準を切り下げた。米国時間に入り、10 月の米リッチモンド連銀製造業指数が市場予想を上回ると、ドル円は下げ渋る場面もみられた。だが、英国のEU 離脱をめぐる、離脱協定案実施に必要な関連法案の審議を短期化するジョンソン首相の提案を英下院が否決。英国のEU 離脱に対する先行き不透明感が強まると、米株価が下落。ドル円は安値108.44 をつけ、そのまま安値圏で引けている。

(Bloombergデータを元に当行作成)

<金利市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
日	無担保コールO/N	休場	-
日	ユーロ円金利先物	休場	-
日	円-LIBOR 6ヵ月	-0.05867%	+0.00033%
日	円-TIBOR 6ヵ月	休場	-
米	米国FF Rate	1.85%	±0.00%
米	米国TB 3ヵ月	1.6385%	-0.0123%
米	USD-LIBOR 6ヵ月	1.93250%	-0.00175%
ユ	EURIBOR 6ヵ月	-0.34800%	+0.00100%
英	GBP-LIBOR 6ヵ月	0.86788%	-0.01637%
瑞	CHF-LIBOR 6ヵ月	-0.69640%	+0.00420%

※「米国FF Rate」のみ as of 21 Oct 2019

<株式市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
日	日経平均株価 225種	休場	-
米	NYダウ工業株 30種	26,788.10\$	-39.54\$
米	S&P 500種	2,995.99	-10.73
独	独DAX指数	12,754.69	+6.73
英	英FT指数 100種	7,212.49	+48.85
中	上海総合指数	2,954.380	+14.762
伯	ボヘスバ指数	107,381.10	+1,358.80

<主な経済指標>

[illegible]

※「時刻」は東京時間、「市場予想」はBloomberg調査中央値

<債券市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
日	日本国債 2年	休場	-
日	日本国債10年	休場	-
日	日本国債先物 10年	休場	-
米	米国債 2年	1.5944%	-0.0266%
米	米国債 10年	1.7607%	-0.0386%
独	独国債 2年	-0.658%	+0.006%
独	独国債 10年	-0.368%	-0.024%
英	英国債 2年	0.524%	-0.027%
英	英国債 10年	0.711%	-0.039%

(出所)Bloomberg

<商品市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
米	WTI 原油先物	54.21\$	-0.27\$
米	CMX 金先物	1,490.90\$	+3.40\$
米	CRB商品先物指数	175.5060	+0.7699

(出所)Bloomberg

<本日発表予定の主な経済指標>

[illegible]

(出所) Bloomberg

照会先:三菱UFJ銀行 金融市場部

本資料は信頼出来ると思われる各種データに基づき作成しておりますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本資料はお客様への情報提供のみを目的としたもので、売買の勧誘を目的としたものではありません。取引に関する決定はお客様ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。また本資料は当行金融市場部 企画管理グループ リサーチライン (グローバルマーケットリサーチ)により実施される調査や同部門の見解を反映するものではありません。